

2016年12月22日

各位

株式会社 クレハ

研究開発施設における火災の発生原因と再発防止策について

11月22日早朝に発生した福島県沖を震源とする地震発生に伴い、当社研究開発本部中央研究棟において火災が発生したことにつきましては、近隣にお住いの皆様、お客様ならびに関係機関の皆様には多大なご心配とご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

火災発生以降、公設消防をはじめとする関係機関のご指導のもと、発生原因の究明と再発防止策の策定に取り組んでまいりました。本日、関係機関への最終的な報告の実施とあわせ、その概要について下記のとおりお知らせいたします。

当社は、今回の火災発生を厳粛に受けとめ、引き続き関係機関のご指導を仰ぎながら、防災対策の充実・強化を図ってまいります。

記

1. 火災の概要

- ・ 発生日時 2016年11月22日午前6時頃
- ・ 発生場所 中央研究棟3階実験室内の実験用機器
- ・ 鎮火 2016年11月22日午前6時40分（公設消防による確認）
- ・ 被害状況 実験用機器が損傷しましたが、人的被害はありませんでした。
また、他の施設・機器への被害はありませんでした。

2. 火災の発生原因

一定温度を保つための加熱装置（ヒーター）のある実験用機器を使用して、薬品類を使用した反応実験を自動無人運転により11月21日から実施していましたが、11月22日の地震発生により実験用機器の一部が転倒しました。機器転倒後、加熱装置が実験機器内およびその周囲の可燃性物質に加熱状態で継続的に接触したことにより、火災の発生に至ったものと推定しています。

3. 再発防止策

以下の防止策を講じ、今後こうした事態が二度と発生しないよう取り組んでまいります。

- ① 機器転倒防止のため、実験時には機器を固定して使用することのルール化および実験前の危険予知と安全確認の徹底。
- ② 加熱を伴う徹夜での無人反応実験は今後実施しないこと。
- ③ 安全教育の徹底による安全意識および危険予知レベルの向上。
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底
- ⑤ パトロールの強化（管理者の定期的なパトロールと指導の継続）

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

広報・IR部 TEL：03-3249-4651